

## 平成29年度 全国学力・学習状況調査結果の概要 【狹山市立小学校・中学校】

全国学力・学習状況調査は、全国の小中学校を対象にした調査であり、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」（平成25年11月29日 文部科学省実施要領より）ことを目的に実施しているものです。

狹山市教育委員会では、本調査の結果を踏まえ、教育施策等を検証し、改善を図り、児童生徒への学習指導のより一層の充実に努めてまいります。さらに調査結果の概要を保護者並びに地域住民に示すことにより、本市の児童生徒の学力と学習状況の現状や向上策についてご理解をいただき、今後も引き続き、学校教育に対するご支援とご協力をお願いするものです。

なお、この調査により測定できるのは、あくまでも学力の特定の一部であり、この調査から得られたことが全ての教育活動を評価するものではないことをご理解ください。

### 1 調査の概要

- ・実施日 平成29年4月18日（火）
- ・調査対象（1）小学校第6学年 15校（対象児童数 1,091人）  
中学校第3学年 8校（対象生徒数 1,165人）  
（2）小・中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、本調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、原則として本調査の対象となっていません。
  - ①下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒
  - ②知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒
- ・調査事項（1）児童生徒に対する調査
  - ①教科に関する調査
    - 〈国語A、算数・数学A〉…主として「知識」に関する問題
    - 〈国語B、算数・数学B〉…主として「活用」に関する問題
  - ②質問紙調査…学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙による調査
- （2）学校に対する質問紙調査…学校における指導方法に関する取組等に関する質問紙による調査

## 2 全国・埼玉県・狭山市の平均正答率（教科に関する調査の結果）

（単位％）

### （1）小学校第6学年

#### 【教科ごとの区分】

教科	狭山市	埼玉県	全国
国語A	72	75	74.8
国語B	55	57	57.5
算数A	75	76	78.6
算数B	42	45	45.9

#### 【学習指導要領の領域等での区分】

国語A	狭山市	埼玉県	全国
話すこと・聞くこと	67.3	69.8	69.2
書くこと	59.2	59.5	60.6
読むこと	66.4	69.2	70.2
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	75.5	78.1	78.0

国語B	狭山市	埼玉県	全国
話すこと・聞くこと	61.3	63.1	64.9
書くこと	50.8	52.6	53.4
読むこと	47.2	49.2	49.2
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	—	—	—

算数A	狭山市	埼玉県	全国
数と計算	77.4	77.6	80.6
量と測定	63.5	66.2	68.8
図形	76.2	79.6	81.1
数量関係	74.4	76.3	79.6

算数B	狭山市	埼玉県	全国
数と計算	49.8	51.4	52.8
量と測定	41.1	44.1	47.0
図形	8.5	11.3	13.2
数量関係	35.7	38.5	40.0

(2) 中学校第3学年

【教科ごとの区分】

教科	狭山市	埼玉県	全国
国語A	74	76	77.4
国語B	69	72	72.2
数学A	61	63	64.6
数学B	44	48	48.1

【学習指導要領の領域等での区分】

国語A	狭山市	埼玉県	全国
話すこと・聞くこと	70.6	74.0	75.4
書くこと	82.5	84.4	85.7
読むこと	68.6	71.6	73.8
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	74.7	76.0	77.2

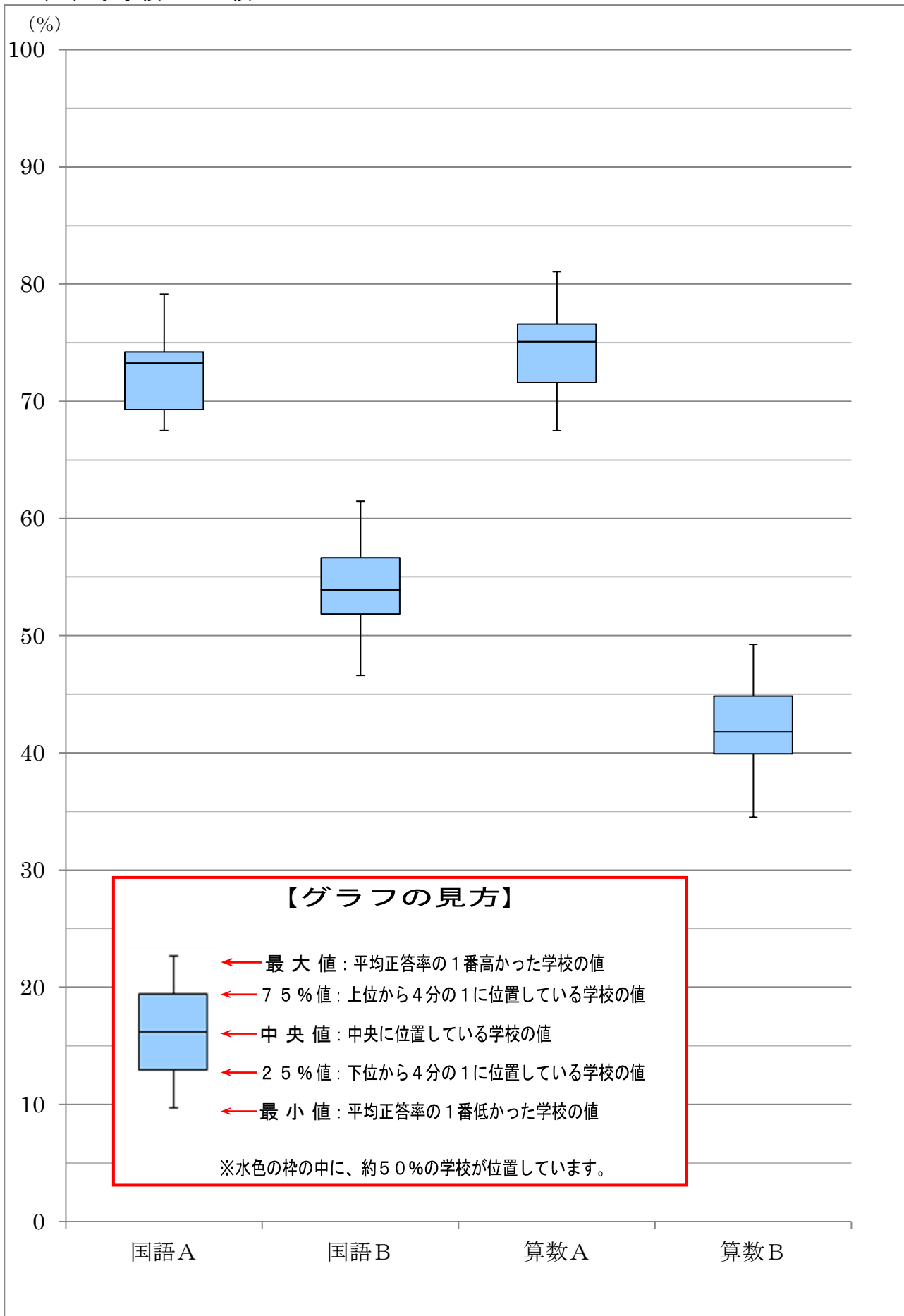
国語B	狭山市	埼玉県	全国
話すこと・聞くこと	69.2	71.7	72.4
書くこと	57.7	60.6	60.8
読むこと	68.7	71.4	72.1
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	38.8	41.4	41.4

数学A	狭山市	埼玉県	全国
数と式	68.2	68.9	70.4
図形	63.1	65.2	66.0
関数	53.9	55.5	57.4
資料の活用	50.3	57.3	57.6

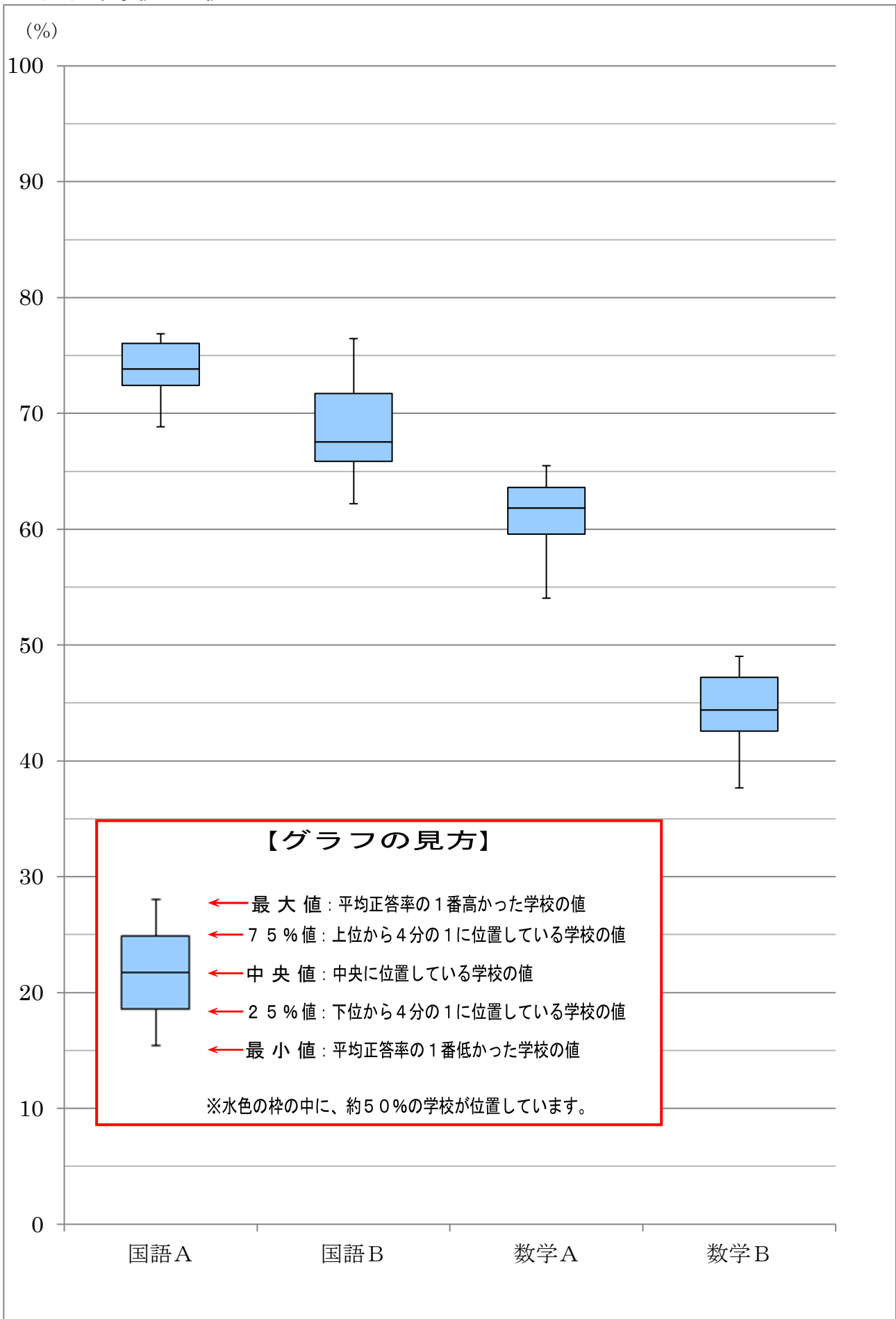
数学B	狭山市	埼玉県	全国
数と式	40.3	44.6	46.3
図形	45.4	47.4	47.1
関数	45.8	50.0	50.8
資料の活用	45.2	48.9	49.1

### 3 狭山市の各学校の平均正答率の分布状況（教科に関する調査）

#### (1) 小学校 15校



(2) 中学校 8校



## 4 質問紙調査の結果

### (1) 狭山市の児童生徒に対する質問紙調査の結果

※質問事項は、小中学校ともに85項目あり、この中から抜粋しています。

※「当てはまる」及び「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合(%)を示しています。

#### 【教科について】

質問事項	小学校			中学校		
	狭山	埼玉	全国	狭山	埼玉	全国
国語の勉強は好きですか	53.6	60.9	60.5	61.9	59.3	60.5
国語の授業内容はよく分かりますか	79.3	82.9	82.2	74.1	74.5	74.9
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	69.8	73.5	68.0	66.8	70.7	62.7
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	65.1	68.7	63.4	59.3	61.5	55.6
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	76.5	78.6	74.8	68.8	70.9	65.9
算数（数学）の勉強は好きですか	67.2	65.2	65.9	55.2	54.4	55.4
算数（数学）の授業内容はよく分かりますか	81.1	79.9	80.6	66.7	68.2	69.4
算数（数学）問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	83.5	82.4	81.1	75.1	75.0	73.5
算数（数学）の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	83.5	84.0	81.4	76.5	76.0	71.2
算数（数学）の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ（根拠）を理解するようにしていますか	84.5	84.6	82.6	73.0	75.5	72.1
算数（数学）の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	86.0	87.3	86.0	84.1	83.3	81.3

【生活や自分のことなどについて】

質問事項	小学校			中学校		
	狹山市	埼玉県	全国	狹山市	埼玉県	全国
朝食を毎日食べていますか	96.6	96.5	95.4	94.0	94.1	93.2
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	83.9	83.5	79.8	78.4	78.4	75.6
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	93.0	92.7	91.2	90.7	92.7	92.4
普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか（テレビゲーム除く） 【2時間以上の割合】	57.1	52.7	55.7	52.8	47.8	49.1
普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム含む）をしますか 【1時間以上の割合】	56.9	54.6	55.5	60.6	56.9	59.0
普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く） 【1時間以上の割合】	19.9	19.2	20.5	49.4	51.7	50.4
学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む） 【1時間以上の割合】	62.4	65.6	64.4	70.7	72.5	69.6
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） 【1時間以上の割合】	53.3	58.9	57.3	67.7	69.8	69.4
自分には、よいところがあると思いますか	76.9	79.8	77.9	70.2	72.3	70.7
将来の夢や目標を持っていますか	93.9	94.2	94.0	71.5	73.1	70.5
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	90.5	92.8	92.5	92.4	92.1	91.9
家の人（兄弟姉妹除く）と学校での出来事について話をしていますか	81.4	82.9	78.1	75.4	77.3	74.3
今住んでいる地域の行事に参加していますか	62.5	60.1	62.6	35.2	37.6	42.1
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	58.5	66.1	63.9	55.1	57.2	59.2
学校に行くのは楽しいと思いますか	85.9	86.9	86.3	77.9	80.7	80.9

## (2) 狭山市の学校に対する質問紙調査の結果

※質問事項は、小学校111項目、中学校109項目あり、この中から抜粋しています。

※「よく行っている(行った)」の割合(%)を示しています。

質問事項	小学校			中学校		
	狭山市	埼玉県	全国	狭山市	埼玉県	全国
調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れられましたか	73.3	81.3	74.2	62.5	64.4	65.4
調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れられましたか	60.0	61.8	52.5	37.5	47.6	43.2
調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか	73.3	72.8	60.9	62.5	80.9	68.3
調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか	40.0	67.4	57.1	62.5	50.0	45.1
前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	26.7	22.5	15.2	25.0	21.2	19.8
調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート(補助)を行いましたか	53.3	24.0	18.5	37.5	11.8	10.8

## 5 考察

### 【教科調査】

#### 〈小学校〉

- ・全ての教科において、平均正答率は全国や県よりやや下回っている。
- ・国語では、主に知識に関するA問題に課題が見られるため、学習を進める基となる知識を授業や家庭学習を通して、効果的に定着させる必要がある。また、算数では、主に知識に関するA問題に比べ、主に活用に関するB問題で数値が低いので、日頃より、基礎的基本的な内容の定着を進めつつ、分かっていることを活かして話し合ったり、問題を解いたりする活動も授業の中で取り組む必要がある。



- ・学校間の分布の様子から、どの教科においても各校の平均正答率の最高値と最低値の差が10ポイント以上あった。各校が本調査の結果を分析するとともに、身に付いていない部分については、確実に定着を図る必要がある。

#### 〈中学校〉

- ・全ての教科において、全国と比較すると3.2～4.1ポイント程度低いが、昨年度は3～6ポイントの開きがあったため、改善傾向にあると考える。
- ・国語のAで、学習指導要領の領域等での区分「読むこと」「話すこと・聞くこと」では全国と約5ポイント程度の差があり、基礎的基本的な知識・技能の習得とともに、言語活動を通して、自らの知識や技能を基に考え、考えたことを伝達する学習場面を設定した授業を継続的に実践していく必要がある。
- ・数学のA・Bでは、学習指導要領の領域等で全国との差が5ポイント以上の区分が3つあり、それ以外の区分も、全て下回っているため、全体を通して、生徒一人一人の定着していない学習内容については、確実に定着させる必要がある。
- ・学校間の分布の様子から、国語B、数学A・Bにおいて、各校の平均正答率の最高値と最低値の差が10ポイント以上あった。小学校と同様に、各校が本調査の結果を分析するとともに、身に付いていない部分については、確実に定着を図る必要がある。

#### 【質問紙調査】

- ・学習面の調査から、小学生の国語に対する好感度については、全国と比較して7ポイント程度の差があり、今後も児童の学習意欲を高めることを中心に授業改善を図る必要がある。
- ・朝食摂取や就寝、起床の習慣は、小中学生ともに全国とほぼ同程度の状況である。
- ・平日のテレビ等の視聴時間（2時間以上）やテレビゲームの時間（1時間以上）については、全国平均よりも数ポイント高く、小中学生ともに50パーセント以上の状況である。また、中学生のインターネット等の時間（1時間以上）も同様に、半数近い状況である。今後も、情報モラルを向上させるための児童生徒への直接的な指導とともに、保護者とも認識を共有し、基本的な生活習慣の確立を更に進めていく必要がある。
- ・平日、家庭学習等の学習時間については、小学生が6割程度、中学生が7割程度、1時間以上学習している状況であるが、土日の学習はそれよりも少ない時間になっている。特に、小学生は土日に1時間以上学習している割合は、全国と比較すると8ポイント低く、土日の家庭学習の習慣化を図る必要がある。中学生においては、昨

年度に比較し、大幅な改善が見られ、7ポイント上昇している。今後も中学生学習支援事業等の推進を図りながら、中学生の土日の学習習慣の定着を図る必要がある。

- ・将来の夢や目標に関しては、小学生の数値と比べると中学生は約2割以上低いポイントである。今後とも、キャリア教育の推進を小中連携・小中一貫教育の中で進める必要がある。

#### 【学校に対する質問紙調査】

- ・小学校では学習規律の定着について、全国平均よりも10ポイント以上高い取り組みが見られたが、中学校では昨年度よりも大幅に低下している。
- ・中学校で、学習規律の改善が大きな課題となっている。学習規律の向上のためには、授業最後の振り返りを指導計画に位置づけ、生徒が「できた、分かった」と学びを実感できる授業改善の取り組みが必要である。
- ・昨年度の調査において課題としていた児童生徒が主体的に学習に取り組む上で効果的な話し合う活動については、小学校で10ポイント以上、中学校では40ポイント近く上昇している。小中学校ともに、課題に対して取り組んだ結果であると考えられる。今後も、継続して、効果的な話し合い活動を取り入れていく必要がある。

20

- ・ボランティアによる授業サポートについては、全国や埼玉県に比べて、大きく上回っている。本市の特色ある教育活動の一端である小中連携事業及び学校応援団、学校支援ボランティアセンター(S SVC)の取組の結果が数値として表われている。今後も地域人材による協力体制を維持するとともに、児童生徒一人一人の学力の更なる向上に向けて、より充実した取組になるよう学校間の連携や保護者及び地域との連携を図る必要がある。

#### 6 今後の取組等 狭山市教育委員会「学力向上の取組」参照

<http://www.sayama-stm.ed.jp/center/index/gakuryoku/index.html>